

道路行政セミナー2013年3月号 NO.054 2013年3月22日発行 ポイント

◆◆特集◆◆

★平成25年度道路関係予算概要★

(国土交通省 道路局 総務課)

平成25年2月28日に国の平成25年度予算が国会に提出されました。本稿では、このうち道路関係の予算について、その概要を紹介します。

◆◆道路法令Q&A◆◆

★地域主権改革推進一括法案における道路構造令の取扱いについて★

(国土交通省 道路局 路政課)

地域主権改革推進一括法案における道路構造令の取扱いについて解説する。

◆◆TOPICS◆◆

★鹿児島市電軌道敷緑化事業における事例報告★

～都市の緑化の先導的な役割として～

(鹿児島市 建設局 建設管理部 公園緑化課)

市電軌道敷緑化は、緑あふれる地球にやさしい「環境リーディングシティ鹿児島」の実現を目指し、緑豊かで快適な環境づくりを進めるため、平成18年度から実施している本市ならではの取組である。ヒートアイランド現象の緩和や沿線騒音の低減をはじめ、都市景観の向上に大きく寄与し、本市を象徴する新しい街の風景となった軌道敷緑化の取組を紹介する。

◇◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◇

★中国横断自動車道尾道松江線 （松江自動車道）における地域活性化関連施設★ （国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所 管理第一課）

新直轄方式で整備した中国横断自動車道尾道松江線（松江自動車道）が、平成25年3月30日に開通することにより山陽地方と山陰地方が高速道路で結ばれる効果と、地域活性化関連施設の連結許可事例や当該路線の開通後に交通量の減少が予想される現道（国道54号）沿線の地域活性化策の取組みについて紹介します。

.....

★道路景観改善にかかる標識の整備に関する取組み★ （福井県 土木部 道路保全課）

福井県では、観光地など福井の歴史ある沿道景観の形成・維持を推進しています。中でも、道路標識は、支柱の本数や標識板の寸法が沿道景観に大きく影響することから、周辺環境に調和した標識の整備が求められています。このことから、本稿では、その取組みについて紹介します。

.....

★「結（ゆい）の故郷（くに）越前おおの」 人を結び、時を結び、地域を結ぶまちを目指して★ （福井県 大野市 建設部 建設課）

大野市では、道路整備を通じ、その整備効果を最大限、まちの活性化に繋げられるよう取り組んでいます。本稿では、着々と整備される道路ネットワークとともに、越前おおのまるごと道の駅ビジョンの具体化、自転車を活用したまちづくりの推進について紹介します。

◆◆編集後記◆◆

だんだんと気候が暖かくなり、春の足音が聴こえてくるようになりました。心地良い陽気に、日中にもかかわらず眠気を誘われ、ついウトウトしてしまうことも・・・

春になると眠たくなるのは、緊張・活動時に働く“交感神経”とリラックス・睡眠時に働く“副交感神経”の2つから成る“自律神経”が乱れるという体のメカニズムが深く関係しています。冬から春にかけての季節の変わり目に、気温の差が激しくなると、本来、日中に働く交感神経が鈍くなり、2つの神経バランスが崩れ、眠気がでてしまうとのこと。

眠気を覚ますためには、覚醒作用があるカフェインを含んだコーヒー・紅茶を飲むことや、脳の働きを活性化させるため、清涼感のあるメントール系のガムを噛むことが一般的な手法です。このほか、日中に15分～30分程度の“仮眠”をとると、眠気防止につながるのですが、最近の研究で明らかになってきました。仮眠を取り入れることは、眠気防止だけでなく、脳と体を休ませて活力を回復し、集中力を高める効果があり、昼休みに取り入れる人が増えているようです。

早速、昼食の後に15分程度の仮眠をとってみたところ、午後、眠気に誘われることが少なくなったように感じます。また、仮眠をとる前にコーヒーを飲むと、カフェインは体内に入ってから30分ほど経って作用するので、スッキリ！と目覚めることができます。

新しいスタートを迎える春は、異動や引越しなど、環境の変化によってストレスを抱えたり、悩みが増える季節でもあります。そんな時は、解決したい事柄についてじっくり考えてから眠りにつくと、目覚めた時に良い解決策が浮かぶことがあるそうで、かの発明王トーマス・エジソンは、仮眠時にこの手法を取り入れ、発明のアイデアを得ていたとか。

“春眠暁を覚えず”ということわざがあるように、春の眠りはとても心地良く、眠気やだるさに負けてしまいそうになりますが、仮眠を上手に利用して、心も体もバランスを整えたいと思います。(K)